

愛知医科大学病院  
糖尿病・CKD連携の手引書

## 愛知医科大学病院 糖尿病内科への紹介基準

- ✓ 血糖コントロールが不良な場合
- ✓ 1型糖尿病が疑われる場合
- ✓ 治療薬の調整が必要な場合
- ✓ 食事・運動療法が十分に指導できない場合
- ✓ 慢性合併症（神経障害など）が疑われる場合
- ✓ 高血糖・脱水がありケトアシドーシスが疑われる場合

## 愛知医科大学病院

### 腎臓・リウマチ膠原病内科への紹介基準

#### ◆ eGFRによる基準

- ・40歳以上：eGFR45ml/分/1.73m<sup>2</sup> 未満
- ・40歳未満：eGFR60ml/分/1.73m<sup>2</sup> 未満

#### ◆ タンパク尿による基準

- ・尿タンパク+2以上
- ・尿タンパク/Cre比 0.5g/gCr以上
- ・尿アルブミン/Cre比 300mg/gCr以上

# 疾患管理に必要な検査と診療

## かかりつけ医の先生に実施いただきたい検査

検査	留意点	頻度(目安)
検尿 (潜血・蛋白・尿糖)	<ul style="list-style-type: none"><li>検尿には随時尿の使用が一般的です。</li><li>尿タンパク(+)を繰り返す場合、尿タンパク定量を実施して下さい。(尿タンパク定量・尿クレアチニン定量)</li><li>尿タンパク(-)~(±)の場合、<b>糖尿病があれば尿アルブミン定量</b>を実施して下さい。</li><li>尿タンパク定量と尿アルブミン定量は同時に算定できません。</li></ul>	毎月の診察時
尿アルブミン (定量)	<ul style="list-style-type: none"><li>糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3月に1回に限り算定できます。</li><li>随時尿でも測定できます。</li></ul>	3-6ヶ月に1回
血清クレアチニン /eGFR	血清クレアチニン値を測定する際は、eGFRも算出して下さい。	3-6ヶ月に1回 低下例は毎月

## かかりつけ医の先生に実施いただきたい診療

- 糖尿病初診時は必ず眼科に診察を依頼し、その後も定期的に受診させて下さい。
- ご希望の検査(心エコー・頸動脈エコー・神経伝導検査・腹部エコー・腹部CT等)があれば、紹介状に記載して下さい。
- 症状が安定した症例は専門医・専門施設からかかりつけ医へ「逆紹介」させていただきます。かかりつけ医の先生には治療継続、疾患管理をお願いします。また、専門医・専門施設も定期受診や増悪時の紹介により患者さんの病態チェックや検査・治療をいたします。かかりつけ医と専門医の2人を主治医とする「2人主治医制」により、重症化予防を実現します。

# 愛知医科大学病院の専門外来・教育入院

## 糖尿病内科

### 糖尿病栄養相談

日時	月～金曜日の10:30、11:15
担当者	管理栄養士
内容	糖尿病食事療法
予約方法	栄養相談依頼書(患者紹介状)に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAX

### 糖尿病教育入院

コース	2泊3日 水曜日10時入院・金曜日退院 (入院期間中に休日がある場合を除く)
担当者	医師、看護師・管理栄養士・薬剤師 等
内容	食事指導、服薬指導、運動指導 等
予約方法	診療情報提供書(糖尿病専用)に必要事項を記入し、地域医療連携室までFAX

## 腎臓・リウマチ膠原病内科

### CKD教育入院

コース	5泊6日入院コース(月曜日スタート) 2泊3日短期コース(木曜日スタート)
担当者	医師、専任看護師、管理栄養士、薬剤師
内容	疾患・治療の指導、食事指導、服薬指導、 腎代替療法の指導、医療福祉相談 等
予約方法	腎臓内科外来を受診して担当医が予約

\*令和3年8月16日から当面の間、全入院患者さんに対してCOVID-19PCR検査を実施するため、教育入院の患者さんも入院日前日に来院していただきます。